

加熱式たばこを強化



「加熱式たばこのシェア拡大を目指す」と意欲を語る福地淳一
専務執行役員＝岐阜新聞本社

JT専務執行役員、本社で意欲

日本たばこ産業(JT)

と意欲を語った。

の福地淳一専務執行役員が13日、岐阜新聞本社で矢島薫社長と面談し、たばこ事業の再編を踏まえ「より地域に密着した営業活動や社会貢献活動を目指したい」

同社は4月にたばこ事業の運営体制を見直し、国内外の事業を一本化して国内の全都道府県に支社を設置。145カ所ある支店を廃止した。県内では岐阜第

一支店と第二支店を統合して岐阜支社を新設した。

再編に伴って国内たばこ事業CEOに就いた福地氏は「加熱式たばこの販売で後れを取っている。各支社一丸となってシェア拡大に取り組み、たばこの国内シェア1位の座を守りたい」と展望を語った。

社会貢献活動では、JTが協賛して全国で開いている「Rethinkフォーラム」を挙げ、「毎回地域の課題を一つ決めて講演会や討論会を開いている。より多彩な活動も展開させたい」と意欲を示した。